



生品地区 小金井町

稲村さんちのパッチワーク教室



地域のお宝をご紹介します！

顔の見える関係から始まる人とのつながりは、地域を支える大切な力です。趣味の仲間、ご近所同士の助け合いなどの身近な交流は、これからの人生を豊かに彩ります。「つながる通信」では、そんな人と人とのつながりを「地域のお宝」としてご紹介します。

パッチワーク教室について

第1・第3の木・金・土曜日に稲村さんの自宅でパッチワーク教室が行われています。好きな生地でバッグやタペストリーなどを作成しています。パッチワークを楽しみながら、おしゃべりにも花が咲く和やかな教室です。

教室終了後も1時間以上おしゃべりが続くこともあり、健康や趣味、料理など話題は尽きません。参加者からは「2週間に1回の楽しみっ！」と話しを伺えました。



パッチワークとは？

使わなくなった衣類や布の切れ端などを再利用し、小さな布を縫い合わせて新しい作品を作る手芸の技法です。

異なる色や柄の布を組み合わせることで、美しい模様やデザインを楽しむことができます。



趣味の仲間は
気の合う仲間♪

地域のお宝発見 太田市生活支援体制整備事業

自宅で45年間パッチワーク教室を続けている稲村さん。以前は行政センターや洋装店でも長年指導し、多くの人に手づくりの楽しさを伝えてきました。現在も熱心な生徒さんが通い、ご自宅にはパッチワークをはじめ、書道や絵、つる工芸などの素晴らしい作品が並び、ものづくりへの情熱と温かな人柄が感じられました。

稲村 菊代さん



家族や仲間に支えられてここまで続けてこられたことすべてに感謝しています。皆さんと仲良くこれからも続けたいです。



更生保護女性会やPTAなどのつながりから趣味の仲間になった皆さん♪

高松 照枝さん



おすそわけ

稲村さんとは近所で毎日のように会っています。教室には娘の意向で元気に過ごすために参加しています。食材のおすそわけをお互いにしています。



栗原さんからもらった帯

高松さんからもらった生地

生地を貰い合いバッグを作成気軽に頂戴と言える関係です

栗原 つる子さん

もともと稲村さんの作品のファンで、更生保護女性会で知り合ったことをきっかけに教室へ通い始めました。教室では自分の好きな生地や材料を使って自由に作品づくりができるのが魅力です。時には型紙を作っていただくこともあり、築いてきた信頼関係があるからこそ安心してお願いできます。

家富さんの運転で
荳川地区から3人で
教室に通っています



家富 三枝子さん

澁澤さんとはPTAで知り合い教室に誘ってもらって30年通っています。気心知れているいい仲間だからこそ、ここまで長く通えています。



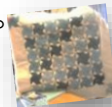
澁澤 操さん

30年以上通っています。教室にいる時間はとっても楽しいです！

☆澁澤さんの旦那さんは荳川地区石原町のアトリエ『アートサロンあいん』代表で、稲村さんも絵を習いに行っています。

大関 稠子さん

澁澤さんから誘ってもらったのをきっかけに24年通っています。今はタペストリー作成中です。



タペストリー

☆澁澤さんのアートサロンあいんでのラフターヨガにも通っています。

チェックポイント

取材を通して、パッチワーク教室は作品づくりの場であるだけでなく、人とのつながりを育み、生きがいや健康づくりにもつながる大切な居場所であることを感じました。稲村さんと皆さんが互いに支え合いながら、笑顔で楽しい時間を過ごしている様子がとても印象的でした。これからも、この温かな教室が地域の交流の場として末永く続いていくことを願っています。

〈お問合せ〉 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
住所：太田市飯塚町1549 電話：0276-46-6208

つながる通信
バックナンバーは
こちら！

